

大阪・関西万博を考える

「排除・環境・歴史」

—メガイベントはもういない—

いま大阪では、2025年開催予定の「大阪・関西万博」に向けて、インフラ整備や再開発が急ピッチで進められています。しかし、その過程で行われているのは、強制排除であり、自然破壊です。そして、2019年4月の釜ヶ崎のあいりん総合センターの強制閉鎖は万博・カジノを見据えて行われ、120年前に大阪で開催された内国勸業博覧会のさいに行われた下層労働者の排除の歴史を繰り返すものです。

大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」ですが、いま行われているこれらのことはそのテーマに真っ向から反するものであり、命の輝きを奪い、破壊するものにほかなりません。

京都教区「教会と社会」特設委員会、兵庫教区社会部、大阪教区社会委員会はこのような大阪・関西万博に反対し、万博をめぐるこれらのことを学ぶための連続講演会を開催します。この連続講演会をとおして、命を傷つけ奪う万博に反対する声が広がり、神の創られた世界と命が回復されるようにと願っています。

第1回

「排除」講師 いちむらみさこさん

感動ビジネスと生活破壊——OLYMPICS KILL THE POOR

日時：2024年1月28日(日) 午後3時～5時

会場：日本基督教団 室町教会

第2回

「環境」講師 村澤真保呂さん

「SDGs万博」の欺瞞を暴く——自然と人間の新たな転換に向けて

日時：2024年2月25日(日) 午後3時～5時

会場：日本基督教団 宝塚教会

第3回

「歴史」講師 原口剛さん

虐げられた者たちの声を聴け——大阪・関西の博覧会史を掘り起こす

日時：2024年3月20日(水・休) 午後3時～5時

会場：日本基督教団 東梅田教会

お申込み

講演会はZOOMでも配信します。ZOOMからの参加をご希望の方は、QRコードでGoogleフォームからお申し込みくださるか、室町教会浅野献一牧師までE-Mailにてお申し込みください。

E-Mail : asano_kenichi@muromachi-church.org



講師プロフィールとメッセージ

いちむらみさこさん

反五輪の会のメンバー。東京都内の公園のテント村に在住。ホームレスのフェミニストグループ「ノラ」主宰。2013年1月「反五輪の会」発足に参加。2021年閉幕まで直接行動による抗議活動と国際連帯に駆け回る。現在、東京大会を美化する公式記録に抗議しつつ、変わり果てた街と自らの喪失のケアに重点をおきながら生き延びている。インタビュー「現代のバベルの塔 反オリンピック・反万博」（新教出版社）、責任編集「エトセトラ VOL.7 特集：くぐりぬけて見つけた場所」（エトセトラブックス）

村澤真保呂（むらさわ・まほろ）さん

龍谷大学社会学部教授、里山学研究センター研究員。専門は精神分析、社会思想、環境思想。著書に『都市を終わらせる：〈人新世〉時代の精神、社会、自然』（ナカニシヤ出版、2021年）、『中井久夫との対話；生命、こころ、世界』（共著、河出書房新社、2018年）など。論文に「自然環境問題と精神疾患：里山研究からの視点」（『こころと文化』21（1）、2022年）。

（メッセージ） 当日のお話しでは、今回の大阪万博を題材として、国際的な地球環境問題の現状を踏まえて、いったい何が課題なのかを考えたいと思います。

原口剛（はらぐち・たけし）さん

神戸大学文学部准教授。専門は地理学。著書に『叫びの都市：寄せ場、釜ヶ崎、流動的下層労働者』（洛北出版、2016年）、『反東京オリンピック宣言』（共著、航思社、2016年）など。訳書に、ニース・スミス『ジェントリフィケーションと報復都市：新たなる都市のフロンティア』（ミネルヴァ書房、2014年）、ロレッタ・リーズほか『ジェントリフィケーションとはなにか（仮題）』（村澤真保呂・村上潔との共訳、ミネルヴァ書房、近刊）。

（メッセージ） 1903年の内国勧業博や70年万博、そして80年代以降の都市開発。過去120年の博覧会史を振り返り、土地に刻まれた〈犠牲の記憶〉を呼び覚ましたいと思います。

会場教会情報

日本基督教団 室町教会

住所：京都市上京区室町通丸太町上る大門町270

電話：075-231-3343

最寄り駅：京都市営地下鉄「丸太町駅」

日本基督教団 宝塚教会

住所：宝塚市宝梅1-4-46

電話：0797-71-2314

最寄り駅：阪急今津線「逆瀬川駅」「宝塚南口駅」

日本基督教団 東梅田教会

住所：大阪市北区野崎町9-6

電話：06-6311-8894

最寄り駅：大阪メトロ「扇町駅」「東梅田駅」・JR「大阪駅」